

山藤管工株式会社 環境行動計画

取組方針

株式会社下川組は、地域に誇れる社会を目指し、地球環境にやさしい活動を行い地球温暖化問題への取組や、地域の環境活動に自主的に積極的に取り組みます。

当社の事業活動による環境への負荷を認識し、環境保全の積極的な改善を行い、社会的責任に努め環境影響のうち、以下の項目を環境重点テーマとして取り組みます。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減）
- ② 工事部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 28 年 8 月 31 日

山藤管工株式会社

代表取締役 山藤 智

3. 環境負荷の低減目標

28年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも26年度です。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する。



【目標2】 廃棄物の適正な管理を行い、排出量の削減に努める。

【目標3】 コピー用紙使用量を2%削減する。



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素総排出量の削減

- ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② ノー残業デーを設ける。
- ③ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。
- ④ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑤ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。
- ⑥ アイドリングストップを徹底する。
- ⑦ 車両の点検を定期的に行う。
- ⑧ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ⑨ エコドライブに取り組む。(アイドリングストップ、ふんわりアクセル)
- ⑩ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。

【取組2】 廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。
- ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。
- ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ④ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ⑤ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ⑥ 紙のリサイクルに努める。
- ⑦ 製品をできるだけ長期間使用する。

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ③ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ④ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。
- ⑤ 電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。
- ⑥ 会議資料等の削減に努める。(資料のコンパクト化、必要最低部数のコピー)
- ⑦ コピーをする場合は、その必要性を十分考える。

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、社長（環境管理責任者）を中心に組織的に取り組むとともに、その進捗状況を定期的にチェックします。